

# 山口県

定数：4名

立候補者数：5名



氏名 水野 博彰  
氏名ふりがな みずの ひろあき  
都道府県士会 山口県  
年齢 39  
勤務先名称 下関市立市民病院

### 日本理学療法協会活動歴

2024年～現在に至る 日本理学療法士協会 代議員

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

2013年～2019年 山口県理学療法士会 福利厚生部 部長  
2019年～2025年 山口県理学療法士会 理事  
2025年～現在に至る 山口県理学療法士会 常任理事  
2021年～現在に至る 中国ブロック理学療法士学会 評議員  
2022年～現在に至る 理学療法やまぐち 副編集委員長  
2025年～現在に至る 組織活性化委員会 副委員長  
2025年～現在に至る ホームページ特設委員会 委員長  
2024年～2025年 第34回山口県理学療法学会 準備委員長

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

日本理学療法士協会代議員に再度立候補いたしました。前期の2年間、総会では事前質問や当日の直接質問を通して、会員から上がった声を協会へ伝えてまいりました。

現在、山口県理学療法士会の常任理事を務める中で、協会が掲げる方針と、日々の臨床や地域活動に汗を流す会員の皆様との間には、未だ埋めるべき距離があると感じております。次期任期においては、諸先輩方が築き上げてこられた理学療法士の礎と伝統を尊重しながらも、変化の激しい現代社会において、これからの未来を担う若い会員や学生たちが、理学療法士という職業に強く惹かれ、誇りを持って働けるような環境づくりのために声を上げていきたいと思っております。

代議員には「現場の声を届け、運営に変化を促す」という重要な役割があります。若手が未来に希望を持てる組織であるために、そしてすべての会員の努力が正当に報われるために、現場を知るひとりの人間として、協会運営に対し建設的かつ熱意ある意見を提言していきたいと思っております。

皆様の声を協会へ届ける確かな架け橋として、誠心誠意務めさせていただきます。ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



氏名 道祖 悟史  
氏名ふりがな さや さとし  
都道府県士会 山口県  
年齢 47  
勤務先名称 リハビリデイサービスプラスワン  
宇部店

### 日本理学療法協会活動歴

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

2013年～2022年山口県理学療法士会理事  
2023年～2024年山口県理学療法士会生涯学習局長  
2025年～山口県理学療法士会会長

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

私は10年以上にわたり、役員や会長として山口の地で皆様と共に歩んで参りました。その中で実感しているのは、協会本部が推進するビジョンを、地域の実情に合わせて「最適化」していくことの重要性です。

少子高齢化や過疎化が進む山口県は、日本の未来の課題を先取りする「課題先進県」でもあります。現場で培われた知恵や会員の皆様の切実な声を正確に吸い上げ、協会の施策へフィードバックすることは、組織全体の適応力を高め、理学療法士の職能を守ることに直結すると確信しています。

私は組織運営力、経営者としての視点、そして10年以上会員の皆様と対話を重ねてきた経験を活かし、山口の「現場のリアル」を建設的な提言として中央へ届ける「確実なパイプ役」を担います。

全ての理学療法士が専門性に誇りを持ち、安心して研鑽を積める未来を創るため、現場と中央の強固な連携を目指し、山口県の声を力強く届けて参ります。皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。



氏名 山出 宏一  
氏名ふりがな やまで ひろかず  
都道府県士会 山口県  
年齢 52  
勤務先名称 山口リハビリテーション病院

#### 日本理学療法協会活動歴

2016. 3～2022. 3 補欠代議員  
2022. 4～現在 代議員

#### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

2009. 6～現在 理事  
2021. 6～現在 学術局長  
2025. 6～現在 副会長  
2007. 11 第17回山口県理学療法士学会 学会長  
2019. 9 第33回中国ブロック理学療法士学会準備委員長  
2025. 8 第38回中国ブロック理学療法士学会学会長

#### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

2025. 6～現在 日本神経理学療法学会山口地方会リーダー

#### 立候補の趣旨

私はこれまで2期4年にわたり、日本理学療法士協会の代議員として活動してまいりました。また、山口県理学療法士会においても、さまざまな役割を担いながら活動する機会をいただけてきました。

これらの活動の中でも特に、代議員として、会員の皆さまの声に耳を傾け、その思いや課題を協会へと還元する橋渡し役として取り組んでまいりました。県士会では理事として長年活動し、今期は副会長として、現場と組織の双方の視点から理学療法士を取り巻く課題に向き合っています。

現在、理学療法士の活躍の場は多様化し、私たち一人ひとりに専門職としての成熟が求められる時代となっています。このような中で、会員の皆さまが働きやすく、やりがいと誇りを持って理学療法士であり続けられる環境づくりに貢献したいと考え、代議員に立候補いたしました。

引き続き、皆さまのご理解とご支援、そして今後もお力添えをいただきたく存じます。



氏名 溝口 桂  
氏名ふりがな みぞぐち かつら  
都道府県士会 山口県  
年齢 46  
勤務先名称 周東総合病院

### 日本理学療法協会活動歴

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

2007年～2012年 山口県理学療法士会 学術大会部部長  
2012年～ 山口県理学療法士会 学術局理事  
2025年～ 山口県理学療法士会 生涯学習局局長

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

2024年～ 日本糖尿病理学療法学会 糖尿病対策委員  
2025年～ 日本糖尿病理学療法学会 評議委員

### 立候補の趣旨

日本理学療法士協会は、超高齢社会の進行、医療・介護制度改革、地域包括ケアの深化、会員組織率の変動など、大きな転換期を迎えています。こうした時代において、理学療法士一人ひとりの専門性と社会的価値を、現場から政策へと確実につなげていくことは、協会に求められる重要な役割であると考えています。

一方で、次世代を担う若手理学療法士を取り巻く環境は必ずしも十分とは言えず、臨床現場の多忙化やキャリアパスの不透明さから、学びや挑戦に踏み出しにくい現状も少なくありません。私は、臨床・教育・研究の現場に携わる中で、若手理学療法士が「相談できる場」、「学んだことを臨床で活かせる仕組み」、「将来像を具体的に描ける道筋」を強く求めていることを実感してきました。

こうした会員一人ひとりの声を丁寧に聞き取り、協会運営に確実に反映させたいと考え、代議員選挙への立候補を決意しました。今後は、生涯学習制度の質と実効性の向上を図るとともに、若手・中堅理学療法士が主体的に参画し、挑戦できる機会の創出、さらに多職種・地域との連携強化に取り組んでいきたいと考えています。

現場で働く理学療法士が誇りと希望を持ち、若手の挑戦が次の世代へと確実につながっていく協会づくりに、現場の代表として尽力して所存です。

何卒、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



氏名 石光 雄太  
氏名ふりがな いしみつ ゆうた  
都道府県士会 山口県  
年齢 32  
勤務先名称 関門医療センター

### 日本理学療法協会活動歴

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

山口県理学療法士会 令和5年 災害リハビリテーション研修会 部員  
山口県理学療法士会 令和6年 保健事業推進部 部長  
山口県理学療法士会 令和7年 内部障害専門部会 部員

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

日本予防理学療法学会 令和2年 COVID-19対策班（市民グループ班長）  
日本地域理学療法学会 令和2年 COVID-19対策班  
日本精神・心理理学療法学会 令和3年 評議員  
日本産業理学療法研究会 令和6年 協力員  
日本産業理学療法研究会 令和7年 国際委員

### 立候補の趣旨

理学療法士の専門性は今や認定・専門理学療法士の領域を見ても多様な分野に普及しております。一方、これらを次世代へ継承し、若手が安心して成長できる環境づくりが重要と考えており、これらに貢献したいと考え、立候補しました。

また多様な専門性を持ち得ている理学療法ではありますが、「人與人」であることから人間力の育成と、スペシャリストも重要ですがジェネラリストの普及がより重要と考えており、理学療法士として、専門分野以外のことも一定以上の水準で評価・アプローチできる臨床力は本邦のような超高齢社会かつ人生100年時代では重要であると考えております。

これらの臨床教育、研修機会、キャリア形成、研究支援は、地域の医療提供体制の質にも直結します。代議員として、若手や中堅の声が届きにくい課題も丁寧に拾い、教育体制の整備と学び直しの機会の拡充、職域の魅力向上につながる提案を行います。